

問

a は正の定数とし、次の2つの曲線を C_1, C_2 とする。

$C_1: y = x \log x \ (x > 0) \quad C_2: y = ax^2 \ (x > 0)$

このとき、

- (1) 2つの曲線 C_1, C_2 が異なる2点を共有するような定数 a の範囲を求めよ。
- (2) 2つの曲線 C_1, C_2 の共有点の x 座標 $p, q \ (p < q)$ が $q = p^2$ を満たすとき、定数 a および p, q を求めよ。
- (3) 上の(2)で定めた定数 a に対して、2つの曲線 C_1, C_2 が囲む領域の面積を求めよ。

(京都市立医大)

解] (1) $x \log x = ax^2 \ (x > 0)$ より

$f(x) = a$ の形に変形することからポイント

$$\frac{\log x}{x} = a \quad \text{--- ①}$$

$$f(x) = \frac{\log x}{x}$$

x	0	---	e	---
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗	$\frac{1}{e}$	↘

よおくと

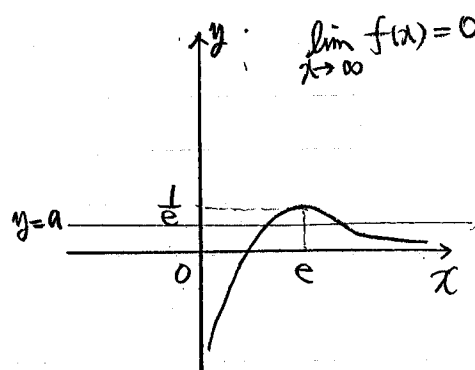
$$f'(x) = \frac{x \cdot 1 - \log x \cdot 1}{x^2}$$

$$= \frac{1 - \log x}{x^2}$$

$= 0$ よおくと $x = e$

増減表とグラフは右のようになります

$0 < a < \frac{1}{e}$ --- (答)



(2) p, q は ① の解なので

$$\frac{\log p}{p} = \frac{\log q}{q} = a$$

$q = p^2$ より $\frac{\log p}{p} = \frac{\log p^2}{p^2}$ から

$(p-2) \log p = 0$ より $p = 2$ 又は $p = 1$

$p = 1$ のときは $q = 1$ となり $p < q$ に反する

よって

$p = 2, q = 4, a = \frac{\log 2}{2}$ --- (答)

(3) $2 \leq x \leq 4$ のとき, (1) のグラフより

$$\frac{\log x}{x} \geq \frac{\log 2}{2} \quad \text{だから}$$

$$x \log x \geq \frac{\log 2}{2} x^2 \quad \text{である.}$$

よって求める面積を S' とすると,

$$S' = \int_2^4 \left(x \log x - \frac{\log 2}{2} x^2 \right) dx$$

$\int x \log x dx$ を部分積分

$$\begin{aligned} &= \left[\frac{x^2}{2} \log x - \frac{x^2}{4} - \frac{\log 2}{6} x^3 \right]_2^4 \\ &= 8 \log 4 - 4 - \frac{32}{3} \log 2 - \left(2 \log 2 - 1 - \frac{4}{3} \log 2 \right) \\ &= \frac{14}{3} \log 2 - 3 \quad \text{--- (答)} \end{aligned}$$

教科書とのつながり (公式等)

$$\text{商の導関数} \quad \left(\frac{f}{g}\right)' = \frac{f'g - fg'}{g^2}$$

$$\text{部分積分法} \quad \int_a^b f'g \, dx = [fg]_a^b - \int_a^b fg' \, dx$$

補充すべき内容

本問では次の積分をするのに部分積分法を用いた。

$$\int_a^b x \log x \, dx = \int_a^b \left(\frac{x^2}{2}\right)' \log x \, dx$$

$$= \left[\frac{x^2}{2} \log x\right]_a^b - \int_a^b \frac{x^2}{2} \cdot \frac{1}{x} \, dx$$

$\log x$ を式の後半で微分する関数として扱う。

問題解決のための数学的な考え方

$y = x \log x$ ($x > 0$) と $y = ax^2$ ($x > 0$, a は正の定数)
が異なる2点を共有する

⇔ 方程式 $x \log x = ax^2$ の実数解が2個存在する。

$x > 0$ より両辺を x^2 で割ると

方程式 $\frac{\log x}{x} = a$ の実数解が2個存在する。

⇔ 関数 $y = \frac{\log x}{x}$ と直線 $y = a$ が異なる2点を共有する。